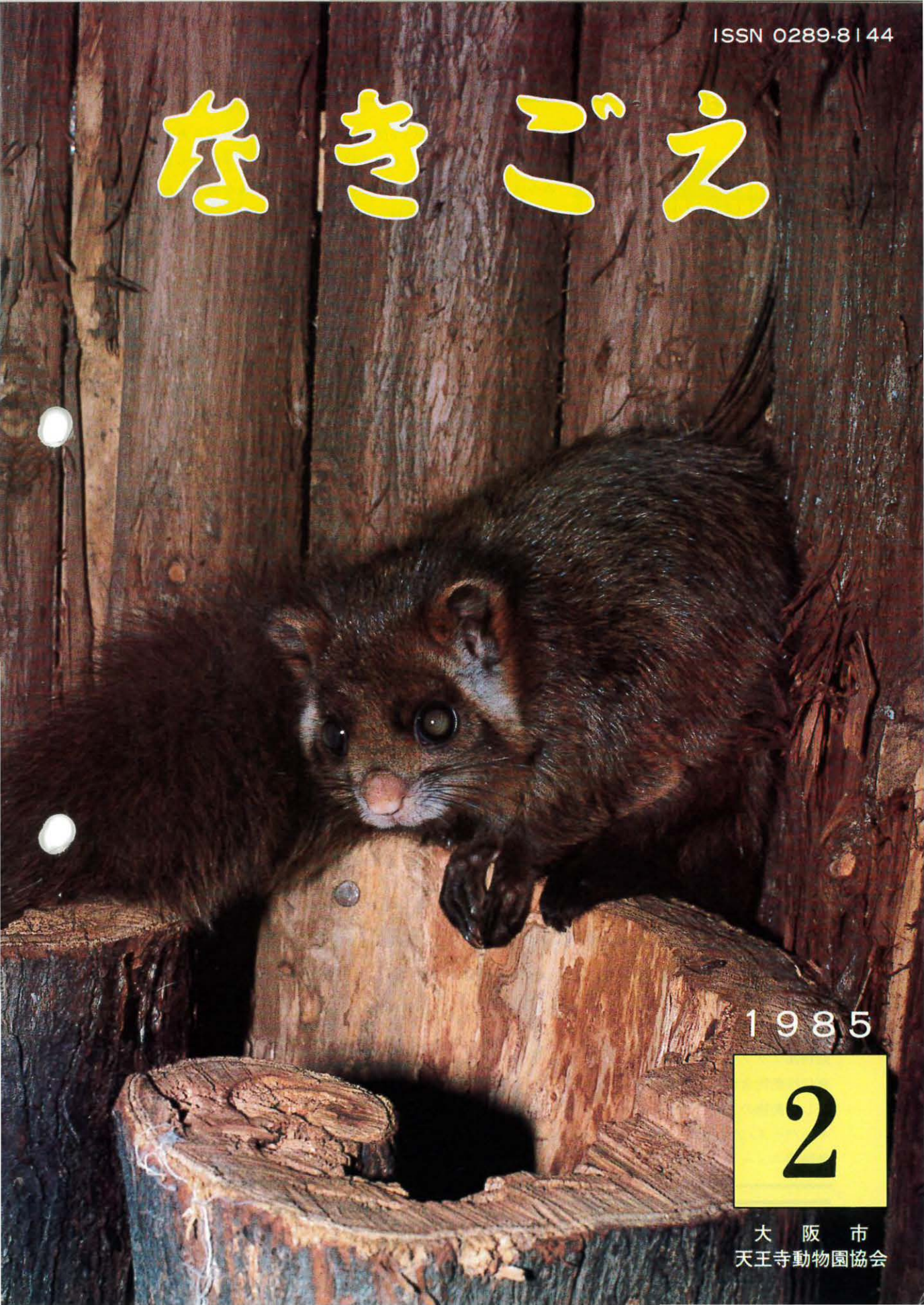


# なきごえ



1985

2

大阪市  
天王寺動物園協会



吉田平七郎



△今は昔1冊35銭で動物園アルバムが発行されたことあり、取材された写真は全部私が撮影したものであった。

初代の林園長さんからフィルム代だけでもと言われたがその代りに実兄の故東光治の動物二千六百年史を天王寺動物園から出版された。元来東山動物園から依頼されて執筆してもらったものがおかげで天王寺動物園のものとなった。

△70周年と言えば私のおもちゃのえと展も今年で20周年を迎えることになり、年中行事になっている。今年は家畜の牛だから動物園にはいない。勇躍おもちゃの牛が正月の動物園を飾ることになった。

△今動物園にはコビトコブウシがいるが昔セレベス産のアノアがいて余り角が鋭くて危ないのでやすりで先端を削られているのを見ていた。

△私は50年間生物の教師をしていたが、テレビの無かった時代で生徒たちに自分で撮ってきた動物の写真でやっと視聴覚教育の責を果たしていた。写真と動物が好きだから動物園へ足繁く通ったものだ。野生の動物を自然界で撮らねば本当の生態写真とはいえ

ないが図鑑より生きているものならある程度生態がわかる。本にも書かれておらず私が少なからず自慢にしているのがキリンの習性を発見したこと。キリンの目より高い位置でカメラを向けると必ず彼らは首を上へそらせるようにしてカメラをより下に見せるようにする。自然の経済原則で必要な筋肉は発達しているが不要なものは進化していない。キリンの頭が長くなったのも同じ自然淘汰で説明できる。△昔ゾウに子供たちを乗せて遊ばせていた時ゾウもとの飼育場へつれ戻そうとしたがどうしても橋を渡らない。そこで水牛を渡らせて安心させたら渡った。“象の確歩”と熟語にもある。タンチョウの2組が金網越しに飼われていた。A組夫婦に雛が生れたらB組の一羽が餌を食べさせてやった。そうした行動を見ると給餌本能が当然そうさせているものらしい。△牛は常識的には草食でも微生物が作用して腹の中では肉食していることがわかった。全ての生物がお互いに他の生物に依存して生存している。自然界の均衡バランスオブネイチュアである。汝の敵を愛せよの原理でもある。食うか食われるかで自然の平和が保たれている事を改めて確認してほしい。戦争は人間同士の共食い現象で他にそんな動物はいない。

△挿絵の写真はリカオンが入園した時の見物人の服装。時代を物語る。日本人もほとんど洋服化した

が動物には今昔なし。(昭和9年入園当時)の動物園長 (おもちゃの動物園長)

なきごえ2月号もくじ

動物と私 .....2
“夜の国からコンニチワ” ..... 3
動物園グラフ・動物園日記 ..... 4・5
夜行性動物舎の住人たち ..... 6・7
楽しい動物の名前の話 ..... 8・9
キーパーズ・アイ ③③ ..... 10
動物園ニュース .....11

表紙の写真説明

“ムササビ”(Petaurista leucogenys leucogenys)
ムササビは日本、朝鮮、中国に分布しているリス科の動物で、日本では本州以南に広く分布しています。当園のものは四国、九州に生息するキュウシュウムササビという亜種です。夜行性で、飛膜を広げて滑空することから別名「ぼんどり」と呼ばれて親しまれています。
新設された夜行性動物舎でご覧いただくことができます。(撮影：榊原 安昭)



“夜の国からコンニチワ”

1月15日、開園70周年記念の一つとして夜行性動物舎がオープンしました。ここには17種類もの動物が収容されており、昼夜逆転した人工照明設備のもとで動物の生態が詳しく観察できます。

(写真：ヨザル 撮影：宮下 実)

# 動物園グラフ

## “ウシ科の動物たち”

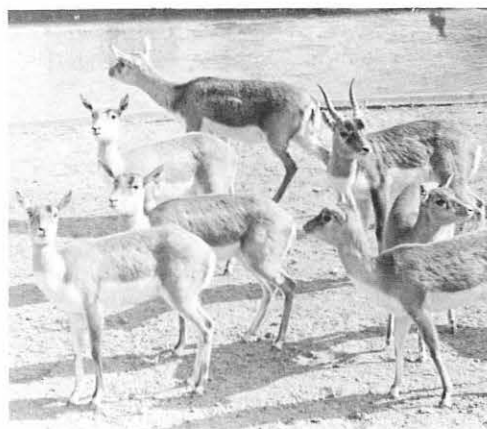
今年のエトは“丑”。

それにちなんで今回はウシ科動物だけをグラフにしてみました。当園にはこのほかにトムソングゼルもいます。

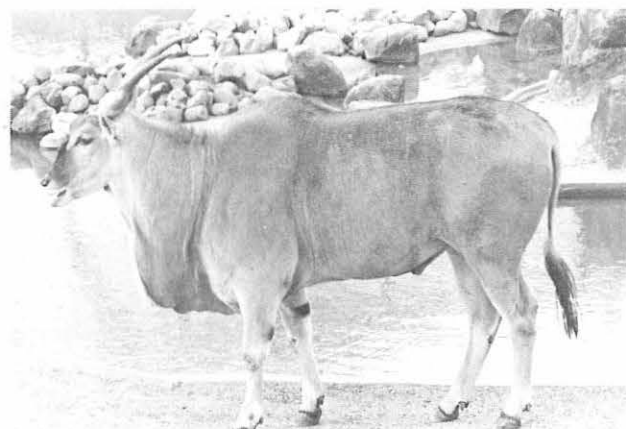
(撮影：森本 委利)



スリランカにみられる小型のコブウシ  
“コビトコブウシ”



↑ 群れを成すブラックバック



↑ レイヨウの中で最も大きいエランド。



岩の多い荒地にすむ野生ヒツジ  
“バーバリーシープ”



若くても、あごひげがあるヤギ



同居中のメンヨウ(左2頭)とトカラヤギ(右)→

↓ ヤリのような角をもつペイサオリックス



中国以外の動物園では、当園でしか見ることができないモウコレイヨウ

すばらしいジャンパーの  
スプリングボック ↓



## 12・1月の動物園日記

- 12/10. キーウイ3羽を夜行性動物舎へ移動させました。
- 12/12. オオコウモリ6頭が入園しました。  
定例飼育研究会が行なわれました。
- 12/14. キタオポッサム4頭が入園しました。
- 12/15. タスマニアデビルの尿検査を行ないました。
- 12/16. トカラヤギが2頭生まれましたが、うち1頭は虚弱で母親のミルクが飲めないため、室内に隔離し、カテーテルで強制的に哺乳しました。
- 12/17. シロテテナガザルの雄が衰弱気味なので、捕獲し入院治療することにしました。

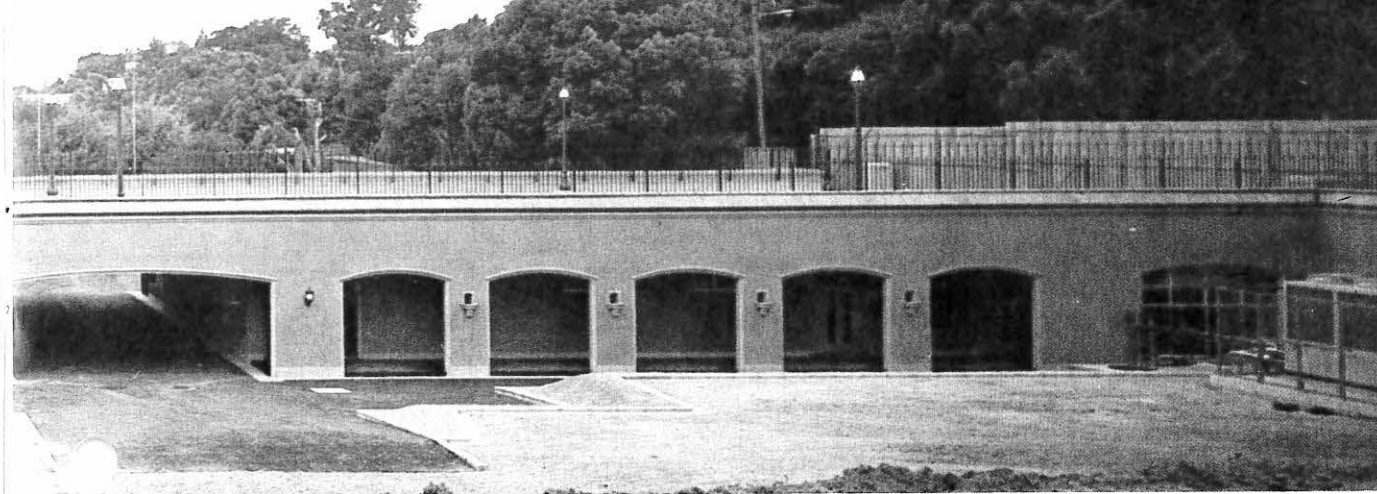
- 12/18. キーウイの“ジュン”が夕方4時すぎに、突然30秒ほど鳴きました。
- 12/19. コビトコブウシ舎、メンヨウ舎、ヤギ舎に新たに山土を入れました。
- 12/20. カリフォルニアアシカの雌が咬傷を受けたので、治療をはじめました。
- 12/21. オランウータンの“サツキ”が妊娠判定で陽性に出ました。
- 12/22. ビントロングの雄が急死しました。急に寒くなったことと治療時の捕獲によるショックが原因と思われる。本日より、カバ母子2頭は室内飼育になりました。

- エミューが今シーズン初めての卵を生みました。
- キーウイの雄“ニュージー”と、ジャコウネズミ、ヒメネズミを夜行性動物舎へ移動させました。
- 12/24. 25. 南園サルアパートの保存室に置いてあったハク製全部をレクチャールームの横にできたハク製倉庫へ移動しました。
- 12/26. 本年8月生まれのグラントシマウマが小腸の回虫塞栓による急性鼓脹で急死しました。
- 12/28. アマサギ1羽とタヌキ1頭を保護しました。
- 12/29. リュウキュウイノシシの雌の子3頭が出園しました。

- 12/30. 動物病院の大そうじを行ないました。  
エミューが2卵目を生みました。
- 1/1. マレーグマが交尾しました。
- 1/2. キタオポッサムが、駆虫薬投与により、回虫を排泄しました。
- 1/3. 4. イヌワシが右の翼を骨折したので治療を実施し、入院させました。
- 1/6. クロサイの雌“サッチャン”が元気・食欲ともなくなったのでさっそく治療し、夜間も十分な観察を行ないました。
- 1/7. タイリクモモンガが2頭入園しました。
- 1/8. クロサイの“サッチャン”が、元気・食欲ともに回復しました。



# 夜行性動物舎の住人たち

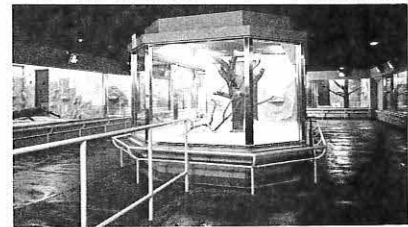


1月15日、当園で初めての夜行性動物舎がオープンしました。

夜行性動物舎は、面積約 636㎡、収容室数15室、収容ケース室2室で、ここには、昼は眠り、夜に活動する17種もの小動物が、人工照明で、昼夜逆転して展示されています。昼間は舎内の照明を月夜のようにし、(約4ルクス)夜行性の動物が活動しているところを、日中でも見ていただけるようになっています。

特に、今まで昼は眠っていて見る事ができなかったキーウィが、朝から活発に動きまわっているところをご覧いただけるでしょう。

なお館内は禁煙、ストロボ撮影禁止ですので、ご



協力ください。また動物をびっくりさせないようにガラスをたいたり、大きな声で騒がないようお願いいたします。

夜行性動物舎の飼育動物について、まず、従来から飼育していた動物から紹介してみましょう。

**キーウィ** キーウィ目 キーウィ科

ニュージーランドの象徴というべき鳥。キーウィはこの国で非常に愛されており、今では国家のシンボルとなった珍しい動物です。キーウィは鼻腔がくちばしの先端にある点で、現在棲息する鳥の中でも特異であり、食物を探す場合、嗅覚が重要な働きをしていると考えられています。当園のキーウィの雄は一週間に一度位鳴き、聞く人によっては「キー、キー」「キーウィ、キーウィ」と聞こえます。キーウィと鳴くのを一回と数えると、7回〜24回位続けて鳴きます。一日の活動時間は5〜6時間位で、夜間でもよく巣に戻って眠ります。

現在、万博の際にいただいたオスのニュージーと昭和57年にオトロハンガキーウィセンターからい



ただいたオスのロンロン、ジュン、メスのダイと計4羽を飼育中です。

**ハリモグラ** 単孔目 ハリモグラ科

ハリモグラは、モグラとは全く関係のない動物で、針のような毛が特徴で、口先と舌が細長く、歯はありません。

原始的な哺乳類でカモノハシと同じく、卵を産み、生まれた仔はお乳を飲んで育ちます。といっても、メスには乳房はなく、汗腺のようなものからにじみ出てくる液体をなめます。昭和58年にメルボルン市のビクトリア製造業会議所から贈られた2頭が健在です。

**ムササビ** げっ歯目 リス科

森林にいる動物で、前足と後ろ足、尾の間に飛膜をもち、夜になるとそれを広げ、木から木へと滑空します。

関西では、奈良公園に行けば見ることができます。高知市立動物園で人工哺育で育てたモモコが収容されています。

その他、アオバズク、オオコノハズク、ジャコウネズミ、ヒメネズミなどが、夜行性動物舎に引越してきました。

次は新着動物の紹介です。

**キタオポッサム** 有袋目 オポッサム科

ずんぐりした体つきで、足は短かく、鼻先は長くとがり、尾は丸くて先端が細くなっています。キタオポッサムは木登りがうまく、尾を枝にまきつけたりします。

前足の指も枝をつかみやすいように、第一指が他の指より離れており、枝の上でもうまく歩くことができます。

メスの育児のうの中には、14個もの乳頭があります。当園のキタオポッサムは、午後よく木に登って



キタオポッサム

ます。オス2頭、メス2頭が入りました。

**フクロギツネ** 有袋目 クスクス科

フクロリスとも呼ばれ、胸部と肛門に臭腺があります。3頭入りしました。

**スローリス** 霊長目 ロリス科

名前の通り、動作がたいへんゆっくりしていて、一歩、

一歩を確かめるようにして歩き、地上におりることはめったにありません。完全な夜行性で、スローモーションの映像のように動きます。

オス1頭、メス1頭が収容されています。

**ヨザル** 霊長目 オマキザル科

目が大きくて、顔が丸く、顔の模様などからフクロウのような感じがします。

当園のヨザルは、活発に動きまわっています。オス1頭、メス2頭です。

**オオガラゴ** 霊長目 ガラゴ科

羊毛状のふわふわした毛をしています。耳は大きくて薄く、折りたたむことができます。

当園のオオガラゴは、午前中「アーン、アーン」と5〜6回続けてよく鳴いています。オス1頭、メス1頭です。

**ショウガラゴ** 霊長目 ガラゴ科



ショウガラゴ

小さい体にもかわら

ず、相当なジャンプ力です。高さ2m、幅3m位は十分に跳び、地面におりた時は、前足を使わず、びよんびよんと後ろ足だけではねるのが特徴です。オス2頭、メス2頭が入りました。

**キンカジュ** 食肉目 アライグマ科

食肉目には珍しく、物にまきつけることのできる長い尾を持っています。

木登りがうまく、枝からぶらさがったり、木の上で餌を食べる時などは、尾をじょうずに枝にまきつけています。

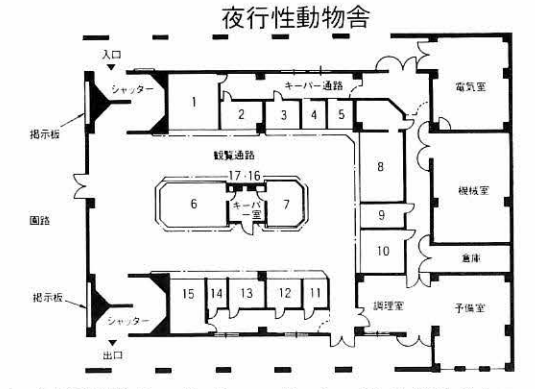
オス1頭、メス1頭が収容されています。

**インドオオコウモリ** 翼手目 オオコウモリ科

顔を見ると、ギツネに似ているから、空飛ぶギツネという呼び名がありますが、おもに果物を食べます。10頭が収容されています。

その他、オオミギツネ、ココノオビアルマジロ、タイリクモモンガなどが、新しく夜行性動物舎にやってきました。

まだ新しい環境になじまないため、それぞれの特徴もよく分かりませんが、いずれ「なきごえ」誌上で興味深い夜行性動物の生態をご紹介しますと思います。とにかく一度、新装なった夜行性動物舎へお越し下さい。キーウィや他の珍しい動物が活発に動いているのがご覧いただけることと思います。(飼育課：大川 光雄)



- |   |            |    |          |    |            |
|---|------------|----|----------|----|------------|
| 1 | オオミギツネ     | 8  | キーウィ     | 15 | キンカジュ      |
| 2 | ヨザル        | 9  | アオバズク    | 16 | ジャコウネズミ    |
| 3 | オオガラゴ      | 10 | フクロギツネ   | 17 | ヒメネズミ      |
| 4 | ショウガラゴ     | 11 | キタオポッサム  | 18 | 収容ケース室     |
| 5 | スローリス      | 12 | ハリモグラ    | 19 | 収容ケース室     |
| 6 | オオコウモリ     | 13 | ムササビ     | 20 | 展示種類数      |
| 7 | ココノオビアルマジロ | 14 | タイリクモモンガ | 21 | 完全冷暖房加湿装置付 |

# 楽しい動物の名前の話

私が動物の和名に興味をもつようになったのは、実は、近郊の山々を動物調査をしながら歩くようになり、多くの樹木、草花の名前を覚えるようになってからです。幸いにして、植物は動物と違ってその場にじっとしていてくれます。よく観察することによりなる程なあ、よくこんなびったりした名前をつけたものだなあと感心させられることばかりでした。ただし、四季を通じてみていないと分らない植物も少なくありません。草花の名前の中には、後世の学者が、物語にこじつけてロマンチックな命名をしたものもあり、歴史を知っていないとさっぱり理解できないこともあります。



植物と動物の名前の中に同じ名前や、共通の発想と思われるものもあって、先人の豊かな想像力や自然観の一端を知ることができます。動物の名前の由来を調べることにより、動物達に一層親しみがわき、よく観察してみようという気持ちにもなります。今回は、まず鳥の名前についてその由来を紹介してみましよう。この由来を知ることによってその鳥に一層の親しみをもっていただければ幸いです。

まず最初に鳥の読み方でトリとチョウですが、トリというのはよく分りませんが、アイヌ語にチリというトリを意味する言葉があります。チョウというのは、長々と垂れさがるといふ意味で、尾の長い鳥をさしています。この他、小柄な鳥をさす、雀(スイ)という字があります。言葉としては、ス・メなど鳥につけられる接尾語が現在でも残っています。クラという言葉も小さな鳥に多くみられ、方言の中にもあるようです。

鳥・雀という字は共に象形文字で、鳥の姿からできた漢字であることは理解されると思います。

これからいくつかの鳥について説明をしてみますが、まだまだ分らないものも多く十分ではないことを最初におことわりさせていただきます。

**ワシ 鷲**  
ワシとは、ハヤシ(早し)からきているといわれています。他にワスギ(輪過ぎ)からという説もあります。漢字の就という意味は、目的に向かって引きよせられるように飛んで行くという意味だそうです。

◎和名 オジロワシ 尾白鷲  
学名 *Haliaeetus albicilla*  
(ウミワシ) (尾の白い)  
英名 White-tailed Eagle (白い尾のワシ)  
タカ 鷹

タカはワシと同じく早いという意味の(速・疾・夙)のトクがタク→タカになったという説と、タカキ(猛き)から、テカイドリ(手飼いの鳥)→タカtaghu(蒙古語)からなどがみられます。古名としてはクチという言葉もあり、これは、クチバシが鋭いということからきています。

漢字の方は广十隹十鳥=人がかこって飼育するという意味です。

◎和名 オオタカ 大鷹  
学名 *Accipiter gentilis*  
(タカ) (気高い)  
英名 Goshawk  
トビ 鷹

トビはトブ(飛ぶ)というところから、弋の方は、射ぐるみの矢ということ、ゆらゆらと飛ぶところからきています。

◎和名 トビ 鷹  
学名 *Milvus migrans*  
(トビ) (さまよう)  
英名 Black-eared Kite (黒い耳のトビ)  
ハヤブサ 隼

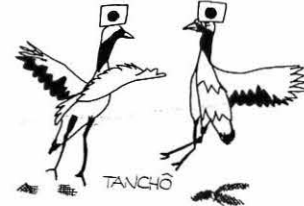
ハヤブサはハヤツバサ(早翼)とかあるいはチャガタイ語にタカをkushとよぶのと同関係のものではないか等があります。隼は孔の早くとぶ意味の字から成り立っています。

◎和名 チゴハヤブサ (稚子隼)  
学名 *Falco subbuteo*  
(ハヤブサ) (小さなタカ)  
英名 Hobby  
稚子とは幼児のことです。

**ツミ 雀鷹**  
ツミについてはよく分りませんが、鷹のメスをさす言葉があり、小さいからツミと呼ぶのでしょうか。

◎和名 ツミ 雀鷹  
学名 *Accipiter gularis*  
(タカ) (シマのある)  
英名 Japanese Lesser Sparrow Hawk  
(日本の 小さな スズメ タカ)

**ツル 鶴**  
ツルはおそらく声からきていると思います。アイヌの踊りでツルルーツルルと鳴きながら歌うのをみました。他にツラヌ(連らぬ)とか、trahaというスウェーデン語にツルとさけぶという意味の言葉があります。



◎和名 マナヅル 真名鶴  
学名 *Grus vipio*  
(ツルの声) (ツルの一種をさす)  
英名 White-naped Crane (白い首すじのツル)  
(クレーンも声から)

真名とは相愛という意味で仲が良いことから。  
◎和名 タンチョウ 丹頂  
学名 *Grus japonensis*  
(ツル) (日本の)  
英名 Japanese Crane  
(日本のツル)

丹頂は頭の頂が赤いということ。  
最近では英名も Red-crowned Crane を用いるようになってきています。

**サギ 鷺**  
サギはイサギヨイ(白い)からとか、サワギ(騒ぎ)またアシアゲからなどがあります。中国東北部に Sanggian という白いという意味の言葉やコルデイ語に Canzan というサギをさす言葉もあります。



路は露と関係があり、すみきった白い色を意味しています。

◎和名 アオサギ 青鷺  
学名 *Ardea cinerea*  
(サギ) (灰白色)  
英名 Grey Heron  
(灰白色のサギ)

民族によって目のつけどころがちがうのですね。  
**シギ 鶺鴒**  
シギはシゲキ(繁き)すなわち羽音が多いということからついているといわれています。

◎和名 アカエリヒレアシシギ 赤襟鱗足鷺  
学名 *Lobipes lobatus*  
(Lobe=葉の破片と pes の足を組み合わせたものであしのひれをさす)  
英名 Red-necked Phalarope  
(赤い首の)

◎和名 ダイシャクシギ 大杓鷺  
学名 *Numenius arguata*  
(新月の) (弓なりに曲がった)  
英名 Curlew  
◎和名 トウネン 当年  
学名 *Calidris ruficollis*  
(くびの赤い)

英名 Little Stint  
(小さな)  
カモメ 鷗  
カモメはナガバネ(長羽根)がなまってカモメになったようです。

◎和名 セグロカモメ 背黒鷗  
学名 *Larus argentatus*  
(海鳥) (銀色の)  
英名 Herring Gull (ニシンのカモメ)  
カモ 鴨  
カモはウカブモノ(浮ぶもの)がなまってカモになったといわれています。

甲はアブとよむことができアップアップと鳴く擬声語だといわれています。  
◎和名 カルガモ 軽鴨  
学名 *Anas poecilorhyncha*

(カモ) (くちばしが種々の色である)  
英名 Spotbill Duck  
(くちばしにするしのあるカモ)

軽鴨をそのままよめば目方の軽いという意味になりますが、軽には強からず、易し・少なしなどの意味もあります。他に狩るなども考えられますが、私はカルカヤ(刈茅・刈藎)にみられるようにカヤのある所に生息しているか、体の色彩が草の枯れたような地味な色彩からではないかと思っています。

**カイツブリ 鶺鴒**  
カイツブリはカキツモグリツ(掻きつ潜りつ)がなまってカイツブリと呼ぶようです。  
鳩ニオ 水に潜るから

◎和名 カイツブリ 鶺鴒  
学名 *Podiceps ruficollis*  
(足が腰にある) (首の赤い)  
英名 Little Grebe  
(小さな)  
アイサ 秋沙

アイサはアキサ(秋早)の略で秋早く渡ってくることから。  
◎和名 ミコアイサ 神子秋沙  
学名 *Mergus albellus*  
(水にもぐる) (小さくて白い)

英名 Smew  
神子は神につかえる女性  
アビ 阿比

アビについてはよくわかりませんが、アイヌ語に Auwa というのがあり、それからではないかという説があります。もしかすると、アビキ(網引き)すなわちアビ漁にみられるように漁業に有益な鳥であることからか、又は色彩が網目のようであるからか、あるいは水に浮かんでいる姿が低く波をあびるからかと私なりに思っていますが、いかがでしょうか。

◎和名 アビ 阿比  
学名 *Gavia stellata*  
(ウミガモ) (はん点のある)  
英名 Red-throated Diver (赤いどの水にもぐる鳥)

◎和名 オシドリ 鶺鴒  
学名 *Aix galericulata*  
(水鳥) (ヘルメットのようにになっている頭)  
英名 Mandarin Duck (みかん色をしたカモ)  
オシドリとは相愛しからきている言葉で番いで仲良く行動している姿からつけられたものです。

死体とは丸くしなやかで背のまん中が低い鳥という意味を表しています。  
◎和名 ツクシガモ 筑柴鴨  
学名 *Tadorna tadorna*  
(インドでカモのこと)

英名 Common Shelduck  
筑柴とは有明海に多くみられることから筑柴地方の名前をとってつけられた。  
最後にアヒルとはアシヒロ(足広)からきています。仲々ユーモアがありますね。

紙面の関係で今回はこれ位にしておきます。又、機会があれば続編を書きたいと思っています。  
(飼育課:大野 尊信)



# キーパーズ・アイ ③③

## ☆ タスマニアデビル、スーちゃんのシェイプアップ作戦

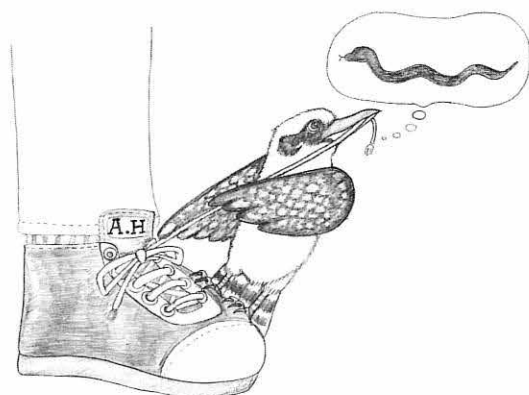
タスマニアデビルは、本当にかわいい動物です。クマの仔のようで、アライグマのようで、タヌキみたいで、そして実はカンガルーと同じ有袋類に属しています。現在ではオーストラリアのタスマニア島にだけ住んでおり、肉食で夜間になると出歩き、肉ならなんでも食べ、死肉でも骨があらうとなかろうとバリバリ食べてしまいます。自分の体重の1/6位の肉を毎日たிராげの大食漢です。N獣医が、デビルはすぐぶくぶくふとるので餌は2日に1度位でいいのではといえ、心やさしいM獣医がそれではあまりにかわいそうだから1週間に2回絶食日を設けようとワイワイガヤガヤ。結局、絶食日を日曜と木曜の週2回に決めました。しかし…元氣一ぱいのスーちゃんは、他の3頭よりもよく食べしかもよく眠るという健康そのもののメスで、いつのまにやらくぶくとふとってきました。脂肪がついて丸まっこの体でころげるように放飼場を走るスーはあいきょうたっぷりですが、ふとりすぎはやはりよくありま



せん。減量作戦を開始しなくてはと思っているのですが、両手で肉を持っておいしそうに食べるのを見ていると、食事制限もついゆるみがちになってしまいます。食べる事と眠る事の好きなデビルにはとても迷惑なことでしょうが私もそろそろ心を鬼にしなければ……。

(飼育課：野口 秀高)  
(イラスト：藪野 幸司)

## ☆ ワライカワセミ VS 僕のクツ



ワライカワセミにエサを与えようと、収容室の中に入った途端、一羽が私の足元めがけて急降下してきました。「なんだ？」と思ってふと下を見ると、彼

女は私のクツのヒモを一生懸命引っばっているのです。どうやら、クツのヒモが、彼女の好物のヘビカトカゲのしっぽにでも見えるようで、無心にヒモに向かって攻撃をしかけています。別に痛くもかゆくもないのですが、足元でウロウロされるとつい踏んづけてしまいそうで危険です。バン!!と地面を踏み威嚇(?)しましたが彼女は一歩とび下がったあと尾を扇型に、羽根をやや広げ、地面に伏せるように低くかがみました。そして例の口ばしを大きく開けて、私のクツに向かって反対に威嚇姿勢をとって来ました。このスキに私のクツはしっぽを巻いて逃げ、この勝負はワライカワセミに軍配が上がりました。

その後、彼女の運動不足と生活に変化を与えるため“僕のクツ”が度々彼女の家を訪問しています。

(飼育課：早川 篤)  
(イラスト：山下 奉之)

# 動物園ニュース

## § 夜行性動物舎、レクチャールーム開館!!

開園70周年の記念事業の第1弾として、1月15日から夜行性動物舎が一般公開されました。一般公開に先立ち、オープン記念式典が行なわれ、大島市長夫人、公園局長、当園園長と成人の日にちなみ天王寺区の新成人2名によりテープカットが行なわれました。ここにはキーウイ、ハリモグラはじめ17種61点の動物を照明をコントロールし、昼夜逆転して展示しています。夜行性のため昼間は活発に動いているのが見られなかった動物たちの生き生きとした姿を見ることができ



るようになり好評です。特にキーウイは日本では当園で見られないため人気を集めています。一方、夜行性動物舎の西隣りには新たにレクチャールームが完成しました。120名収容可能な講義室、会議室、資料室、剥製保存庫などからなっています。1月15日の午後1時、こけら落としとして、土井園長が今年のエトにちなんで牛の話を入園者の方々にを行いました。今後どしどし、レクチャールームを使用した催し物を行なってゆく予定です。

## § エミューの抱卵



オーストラリア原産の飛べない鳥エミューが、12月22日に今シーズン初めて卵を産みました。例年は人工ふ化しているのですが、今年は運動場の一角にワラなどで入園者の皆さんから見にくい部分を作ってやっところ12月30日に産んだ第2卵目を巣材で隠すようにしたので、第1、第2卵とも自然抱卵させることにし、経過をみたところ1月6日、1個の破卵のあと同月14日からオスが抱卵に入りました。当園

## 現在の飼育動物数

(1984年12月31日現在)

哺乳類	11目	101種	412点
鳥類	19目	184種	603点
爬虫類	3目	32種	81点
計	33目	317種	1,096点

はもとより、動物園ではあまり自然ふ化した例はないので結果が楽しみです。

## § ペンギン舎から

昨年11月24日にふ化したケープペンギンのヒナは順調に育ち、もう両親と変わらない大きさになりました。最近ではプール近くまで出て来るようになりました。



また、イワトビペンギンが1月13日に産卵しました。イワトビペンギンは1979年以来毎年産卵しており、ヒナがふ化したこともあります。うまく育ったことはありませんので、何とか成功させたいものです。

## § トカラヤギ、メンヨウ誕生

動物園では冬にはあまり出産する動物はいませんが、例外としてヤギやメンヨウは寒い時期から出産します。今年もトカラヤギが2頭、12月16日に生まれ



ています。また同じ動物舎のメンヨウも12月21日に1頭生ま

れています。暖かくなれば、またいろいろな動物の出産のニュースをお伝えできるでしょう。

## § トラ、ライオン舎の改修工事

昨年暮れからトラ・ライオン舎の放飼場後部の壁面の改修工事を行なっていますが、1月末には工事は終了する予定です。工事期間中何かとご迷惑をおかけしましたが、2月からは新装なった放飼場でトラ・ライオンをご覧いただくことができます。

## \* レクチャールームからのお知らせ \*

「動物園で働く人達」  
日時：3月30日(土)、4月6日(土)午後1時より  
場所：北園レクチャールーム・講義室

## \* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。4月までの休園日は下記の通りです。  
2月18日(月)、3月18日(月)、4月15日(月)、  
開園時間は午前9時30分～午後5時で、午後4時に切符売止めになります。

# すてき満喫

## 近鉄クレジットカード



- 全国の近鉄百貨店グループ・都ホテチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただくだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。

**近鉄百貨店** お申込み・お問合せは各店クレジットセンター  
 アベノ店・上本町店・東大阪店・奈良店・西京都店・東京店

近鉄百貨店グループ

四日市近鉄・京都近鉄・岐阜近鉄・枚方近鉄・和歌山近鉄・近鉄松下(徳山)・別府近鉄・三交百貨店(松阪・伊勢)・近鉄東海ストア

ひかりのくに

監修・阪口浩平  
指導・宮武頼夫

●オールカラー

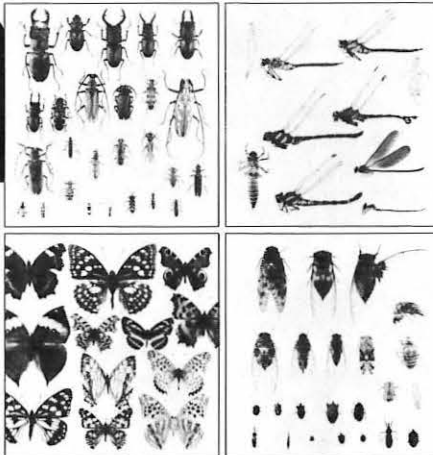
# むし

くらしとかいかた

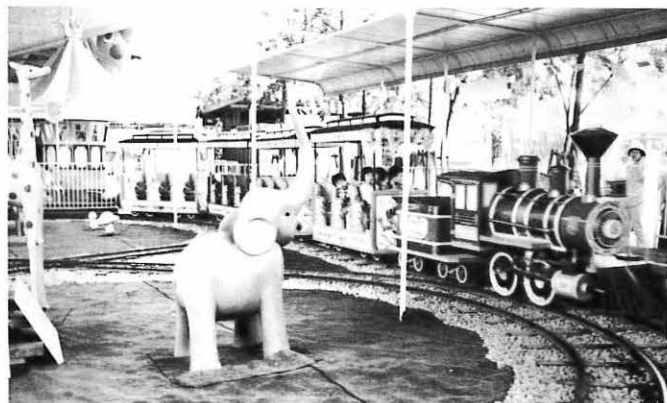
今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きっとすばらしいことに出会えるはずだ。

580円

ひかりのくに株式会社  
〒593 大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりもの、が待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

## 天王寺動物園の機関紙

月刊 **なきごえ**

ご購読をお奨めします。

年間購読料 1,100円 (含、郵送料)

お申し込みは、**大阪市天王寺動物園協会**へ

TEL 06-771-0201

## 世界初の最高感度

(カラープリント用フィルム)

# 1600 新登場!

カラーの大林

桜橋本店 ☎341-8091

三番街店 ☎372-5031



# フジカラー HR 1600

ISO1600/33° 135-24枚撮

天王寺動物園

# ZOO GUIDE の

ご購読をおすすめします  
(1冊 ¥450)  
園内各売店にあります

あらゆる動物に愛の手を!

社団法人 大阪動物愛護会

全国の愛犬家の共感を呼ぶ  
無比の愛犬歌集 (絶賛再版)

# 歌集 犬の歌

動物文学会主宰  
平岩米吉著 (天金美装・箱入  
B6判・270頁  
2500円・干不要  
直接申込)

著者が、約40年の間に、共に暮した70余頭の  
犬の生と死を歌った419首を収録。同時に、そ  
の誕生より老齢に至る写真47図を収め、犬の  
一生の生態写真集でもある。

動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2  
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

日本図書館協会選定  
全国学校図書館選定

# 狼

その生態と歴史  
犬科生態研究所長  
平岩米吉著

A5判・320頁・  
口絵挿絵等140図  
定価2800円・干300円

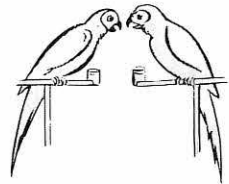
待望の日本狼の正史ついに完成!  
〔改訂四版〕

☆犬科動物の研究者として、当代随一の著  
者が、数十年にわたり収集した正確な資  
料を、生態学の目をもって描いた空前の書。  
☆日本狼は、大口の真神とあがめられた古  
代より、のちには病狼と恐れられ、やが  
て絶滅に至るまでの経緯を詳述。

## 主な目次

- |            |          |
|------------|----------|
| 序狼への幻想と現実  | 5 狼の伝説   |
| 1 犬科の分類と解説 | 6 日本狼の特徴 |
| 2 犬と狼の関係   | 7 日本狼の絶滅 |
| 3 日本狼の歴史   | 終狼を飼った人々 |
| 4 狼狩の記録    |          |

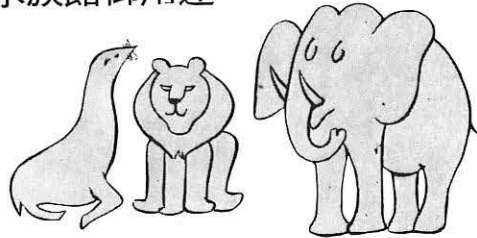
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地  
振替・東京4-165425



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



## 有限会社 吉川商会

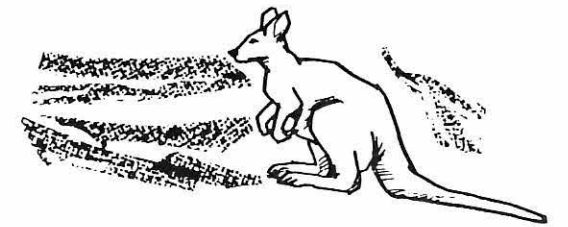
本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

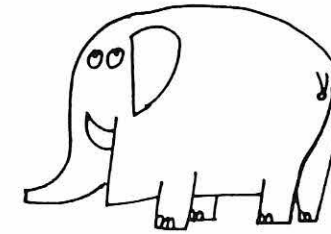


……………ぼっちゃん  
……おじょうちゃん  
どうぶつえんへ……………  
いらっしやいませ……  
ごきゅうけいは……………  
おしょくじは……………

## 動物園内北園 中央売店

☎(06) 771-0973

## 天王寺動物園内

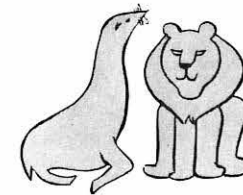


## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話(06) 771-7110番

園内でのお写真は…  
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

◎随時係員が待機して  
おりますのでご説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願ひ致し  
ます。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444



新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ

自然の  
おいしさ



# 雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

## 夜行性動物舎完成記念

キーウィの  
ぬいぐるみ

新発売

1コ 2,300円

協会で……!



なきごえ 昭和60年2月10日発行（毎月1回10日発行）第21巻 第2号 （通巻234号）

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価 100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

1年継続 (12部) 1,100円 (送料共)

編集委員

（土井 良彦・伊藤 重朗・小出 雅三・樽本 勲・中川 哲男・前田 豊彦・宮下 実）  
（長瀬健二郎・榑原 安昭・森本 委利・大野 尊信・葭谷 文彦・農本 武志・野口 秀高）  
（仲谷 登・柴田 総・兼坂 雅浩・堀 弘・大川 光雄）